

# 5月分社内報

関係者各位様に見届けて頂きました通り、平成20年4月23日 第613番船改め「海嶺」は無事進水させて頂くことが出来ました。これも偏に上野トランステック株式会社様、株主各位様をはじめとする関係者の皆様のご尽力のお陰と、役員一同、心より感謝させて頂いております。



今後共竣工、そして就航に向けて、邁進する所存でおります。何卒倍旧のご指導、ご鞭撻の段お願い申し上げます。

瀬戸内中央汽船株式会社 取締役一同

## <編集後記～進水式特別編>

花田です。

感動というより、無事進水出来るかという不安の方が先行し、それどころではなかったというのが正直なところ。いつかどなかたの進水式にお招き頂き、客観的に見させて頂いた時にようやく本船の進水を思い出して感動するのだと思います。そういう日が来ることを楽しみにしながら、今後竣工まで全力で頑張りますので、宜しくご指導の段お願い申し上げます。

谷村です

今回、役員の子供一同として、私の娘が代表として支綱切断させて頂きました。船舶関係に携わっていないながら、経験がある方のごく僅かであると思います。当然本人達はわかっておりませんが、いつかそれが得難い経験であることを本当の意味で彼らに自覚してもらうためにも、私達は今後も全力で邁進していく所存であります。今後共同卒宜しくお願い申し上げます。

上野善社長を始め御出席頂いた皆様、又ご尽力頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

白石です。

「進水式」本当に感動しました。感無量です。それと同時に本当に関係各位様には感謝です。この感謝の気持ちをお返しするには、今後の「海嶺」の無事な竣工・就航と安全航海・安全荷役しかありません。その為には、私として出来る事、ソフト面の充実という部分で、竣工までに船員のベストチームを作ることです。これしかありません。今はこの目標に向かって全力投球です！！

末田です。

この度中谷造船(株)さんをはじめ上野トランステック(株)様や各メーカーのご指導・ご協力を頂いて、無事進水することができました。皆様本当にありがとうございました。

海嶺は当初より図面では見ていたものの、いざ実際に建造にとりかかり船台にバラバラのブロックが乗り始めた頃は、今回のような進水式を迎えることができるとは想像もつきませんでした。

進水の瞬間、無事に降りるのか？ 無事に浮くのか？(失礼) などと期待と不安が交錯して、久しぶりにドキドキしてしまいました。

無事に進水したとはいえこれも通過点に過ぎず、最終的な目標は「無事故」かつ低コストで海嶺を運航することです。

この目標に向かってひとつずつステップを踏み、役員全員一丸となって頑張っ参ります。

### \*\*\*船員募集についてお願い\*\*\*

当社では引き続き船員を募集しております。必要資格については、昨年の社内報にて掲載した通りですが、当然、全てを満足した方のみを募集している訳ではなく、内航タンカーに乗船したいという意欲のある方を募集しております。宜しくお願ひ申し上げます。乗船希望者で具体的な話が有れば、白石、谷村又は役員誰でも構いませんのでご連絡頂ければ幸いです。

協業化、グループ化においては、当然人が要になります。私達も求人活動の中で、大型船、近代化船の乗船を希望しない等の当社よりも各社の人材に相応しい方等については、こちらからもご紹介させて頂きたいと思っておりますので、船員不足でお困りの方についてはご連絡下さい。

竣工に向けて役員共多忙となり、社内報の発行も遅くなり申し訳ございませんが、何卒ご理解とご協力の段お願ひ申し上げます。